

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

平成 29 年 10 月 30 日
村山 章

謙虚に生きることこそが、自分で自分自身を救う道につながっていくのだと思います。かつて、このように申し上げました。今回の衆院選は自民党の圧勝に終わりましたが、当選した自民党の議員の方々がそろって、「謙虚に取り組んでいきます」と発言しておられました。一方で「排除」という冷たいイメージの言葉が明暗を分けたとの報道もありました。「人間は感情の動物」という言葉がありますが、人間を動かしている感情の機微は本当に難しいものですね。

私たちの日々の生活のなかでも、感情にまつわる出来事は色々あります。たとえば他人のミスに対して怒鳴り散らす人がいます。もちろんミスを繰り返すのは問題ですが、慣れていないことが原因のミスは、許すことも愛情の一つだと思います。怒鳴られた方は随分傷つき、ストレスを引きずることになります。

日常会話のなかで、過去の栄光を持ち出して自慢話をしたがる人がいます。自慢話をして満足しているのですから、少しは聞いてあげることも大切かと思いますが、毎回のよう同じ自慢話を繰り返し話すとなると問題ですね。

自分の価値観が絶対とばかりに、相手の言うことに耳を傾けずに押し付ける人がいます。年輪を重ねるとついつい謙虚さがなくなってくるのかもしれないですね。しかし、日々の生活を通していかに成長していくかが重要ですから、本来は「我以外全て我が師なり」の精神が求められると思います。“自分と関わった人は全て先生”という意味のこの言葉は、大衆に親しまれた歴史文学作家、吉川英治が用いた名言と言われます。

向上心と自助精神を大切に、人様に迷惑を掛けないように素直な心で生きましょう。怖いのは、自分自身が気付かないうちに謙虚さをなくし傲慢になってしまうことです。周りの信頼できる人に、自分がそのように傲慢になったら注意してくれるよう頼んでおくことも大切なのではないのでしょうか。一日一日を大切に誠心誠意生きたいものです。